

北海道シリーズ



2021 SEASON 大会特別規則書

本競技会は、F I A国際モータースポーツ競技規則／国際カート規則および、その付則に準拠したJ A F国内競技規則／J A F国内カート競技規則およびその付則、2022 RMC Sporting Regulations、2022 RMC Technical Regulations、に従って開催されます。

第1章 競技会開催に関する事項

第1条 競技会の名称

2022 ROTAX MAX CHALLENGE SERIES



※以下、RMCシリーズと表示します

第2条 競技種目

第1種競技車両によるスプリントレース

第3条 2021RMC シリーズ競技会のクラス区分

- Micro MAX
- MAX Novice
- Senior MAX

第4条 開催日程と開催クラス

| レース | Micro MAX | MAX Novice | Senior MAX |
|----------------|--------------|---------------|---------------|
| 5/22(日) 第1戦 | ○ | ○ | ○ |
| 6/19(日) 第2戦 | ○ | ○ | ○ |
| 8/21(日) 第3戦 | ○ | ○ | ○ |
| 9/18(日) 第4戦 | ○ | ○ | ○ |
| 10/16(日) | ○ | ○ | ○ |
| 開催数 | 5 | 5 | 5 |

※諸事情により急遽予定が変更になる場合には、HP上にてご案内いたします。

第5条 開催場所と大会事務局

南幌リバーサイドカートランド【全長727m、最大直線長120m】

〒069-2021 北海道空知郡南幌町南15線西夕張川河川敷地内

TEL：090-8278-8159

第6条 オーガナイザーの名称と所在地

主催 南幌カートスポーツクラブ

〒069-0236 北海道空知郡南幌町西町4丁目1-12

TEL：011-777-7453 FAX：011-556-9269

協力 株式会社 栄光

〒468-0052 愛知県名古屋市天白区井口1-1709

TEL：052-803-7055 FAX：052-803-7085

第7条 競技会組織委員会および審査委員会

大会公式通知にてご案内いたします。

第8条 競技会競技役員

大会公式通知にてご案内いたします。

第9条 公式通知に関する事項

本規則書に記載されていない競技運営上の細則や、参加者に対する告知等、本規則発表後に生じた必要事項は、公式通知またはインフォメーション、アナウンスにて、迅速にご案内いたします。

参加要項を確認し、必要事項すべてを必ず記入のうえ、エントリー用紙の提出(期日まで)をお願い致します。また、清算はレース当日の受付時にお願ひ致します。(SNSを利用したエントリー申告も可とします)

第10条 大会の延期、中止または取り止め、および変更に関する事項

「JAF国内競技規則、カート競技会組織に関する規定」に基づき、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の一部あるいは全部を延期、中止または取り止めることができます。大会の全部を中止、あるいは24時間以上延期する場合は、参加料は全額返還されます。ただし、保険料は返還されません。なお、エンタラントおよびドライバーは、これによって生じる損失について、主催者に抗議する権利を保有しません。さらに、主催者は大会審査委員会の承認を得て、大会の内容を変更する権限も併せて保有するものとします。

第11条 競技会参加に関する事項

1) 受付期間 【基本；レース開催日1ヶ月前から期限まで】

| | 開催日 | 申し込み期間 |
|-----|--------|------------|
| 第1戦 | 5月22日 | ～ 5月15日(日) |
| 第2戦 | 6月19日 | ～ 6月12日(日) |
| 第3戦 | 8月21日 | ～ 8月14日(日) |
| 第4戦 | 9月18日 | ～ 9月11日(日) |
| 第5戦 | 10月16日 | ～10月9日(日) |
| | | |

1) 締切日までのレースエントリーは、期間内エントリーとして各クラス、エントリー料 **2,000円**の割引をします。

【 決済方法 】

1、現金

第12条 RMC シリーズの参加定員

- 1) 各クラス、予選、決勝のフルグリッド台数は28台とします。
- 2) 参加台数が3台未満(2台)の場合、当該クラスを不成立とする場合があります。
- 3) その他の処置または対応に関しては、公式通知に示されます。

第13条 RMC シリーズの参加資格

1) ドライバー資格

【 M i c r o M A X 】 当該年度：小学1年生～中学1年生
JAF カート国内ジュニアBライセンス以上または、SLライセンスカデット
またはB以上または主催者が認めた者

※小学1年生で参加する場合、主催者が認めた実績かつ技術のあるドライバーに限られます。この場合、親権者の傷害事故に関する承諾も必要になります。公認のライセンスを持たないため、主催者が認めたライセンス可とします。

【 MAX Novice 】 当該年度 : 12歳以上
主催者が認めた者、SL ライセンスまたは J A F ライセンス保有者

【 Senior MAX 】 当該年度 : 14歳以上
J A F カート国内ジュニア B ライセンス、または主催者が認めた者

第14条 レース参加に必要なものと傷害保険への加入義務

- 1) 出場クラスに適合したライセンスまたはコースライセンス（主催者または エントラントが認めた証明）が必要になります
- 2) 競技会参加に関する誓約書
- 3) 当該年度有効な S L 安全保険加ナンバー、または、他の傷害保険加入会社 エントリー時に入力し、かつ、保険証はコピー持参してください
- 4) 当該年度有効な競技規則書を所持していなければなりません。競技当日は必ず持参してください
- 5) ピットクルー・メカニックの方も傷害保険加入を推奨いたします

注) S L ライセンスがない方でも、SL スポーツ安全保険に加入することができます。

ただし、会員外料金となります

「スポーツ安全保険」とは財団法人スポーツ安全協会が、東京海上日動火災株式会社を幹事会社とする損害保険会社 10 社との間に、傷害保険を一括契約する補償制度です。

第15条 ピットクルー等のピットエリア入場規定

ピットクルー、メカニック作業員、エントラント等に配布していたクレデンシャルカードを廃止します。

当該競技のサポートに入る前、アナウンスにて入場をコントロールします。ダミーグリッド、作業エリア、コースは危険な場所です。

ピットクルー、メカニック作業員、エントラントにおいては、施設内での事故等による傷害は、理由にかかわらず自己責任となります。ただし施設の不備は除きます。施設内のルールを守っていただき、すべての方が危険な場所で作業していることをご承知おきください。

第16条 参加受理と参加拒否、誓約書への署名

- 1) 参加者に対して大会事務局より参加受理または参加拒否が通知されず。
- 2) 参加を拒否された申込者に対しては、事務手数料 10% を差し引いた金額が返還されます。
- 3) 参加を受理後、参加を取り消す申込者に対しての参加料は返金されません。
- 4) エントラント、ドライバー、ピット要員は参加申込用紙に記載された誓約文に署名 捺印しなければなりません。

第17条 シリーズの参加料

1) エントリーフィーにはピットクルー 1 名分の登録料が含まれ、各クラス以下の通りとします。【表示価格は、税込みです】

| | |
|-----------------|----------|
| 【Senior クラス】 | 14,000 円 |
| 【Novice クラス】 | 12,000 円 |
| 【Micro MAX クラス】 | 10,000 円 |

2) 貸し出した自動計測器（トランスポンダー）に計測不良がおきた場合、レース中の交換可能な時間を判断し別な自動計測器（トランスポンダー）に交換します。
その場合もゼッケン番号に変更はありません。

3) 自動計測器（トランスポンダー）の配布は選手受付時におこないます。また、貸出した自動計測器（トランスポンダー）のは、決勝ヒート終了後にパルクフェルメで回収します。 ※マイホルダーの方は機器のみ返却してください

第 2 章 競技に関する事項

第 19 条 参加車両

2021 年 J A F 国内カート競技車両規定および、2021 RMC Sporting Regulations および、2021 RMC Technical Regulations1 と、2021 年 瑞浪特別規則書の車両規定に従って開催されます。

第 20 条 自動計測装置 「トランスポンダー」

- 1) 参加ドライバーは、オーガナイザーより貸し出された自動計測装置（トランスポンダー）を使用することとします。
トランスポンダーは競技終了後すみやかに返却してください。万が一破損、紛失した場合、1 個につき **55,000 円（税込）** をオーガナイザーまたは、計測器所有者へ支払っていただきます。
※高価な計測装置につき、ご理解いただきますようお願いいたします

第 21 条 車載カメラについて

レース時に車載カメラを搭載希望の場合、公式車検時に「車載カメラを取り付けた状態で車検を受けてください。

車載カメラを取り付ける場合、撮影した画像はあくまでも個人が楽しむものであると同時に、主催者側から車載カメラ映像を競技判定資料として、提出していただく場合があります。この場合、大会審査委員会側が画像を確認できた場合のみ撮影画像を判定資料とします。

【注意】

カメラ本体は、ボルト、ナット（推奨 M5mm 以上）等でしっかり固定しゼッケンナンバースペースを隠さず、安易に脱落しないように強固に固定をお願いします。

競技中の脱落があった場合ペナルティの対象となります。

また、特殊な小さいカメラを取り付ける場合、事前に大会審査委員会までご確認 お願いします。不備があった場合取り外しをお願いする場合があります。

『車載カメラ規定』

- 1、 車載カメラの車検確認(車検長が安全を確認)をせずに競技に参
加した場合、当該ヒート失格とします。
- 2、 競技中、取り付けの不具合により車載カメラが脱落した場合、
当該ヒート失格
- 3、 事故等によって、車載カメラが脱落した場合、審議対象

第22条 競技番号の指定(ゼッケン)

カート車両の前後およびサイドボックス両側に取り付けることとします。

※ベースサイズ 縦17cm 以上、数字 縦15cm 以上

選手各自でご準備ください。既製品や自己作成可とします。

- 1) その他のクラス：黄色ベースに黒文字とし、数字の形に制限はありませんが見やすいものとします。
- 2) 各クラスとも、指定範囲の中から希望のゼッケンを選択できます。
ただし、希望番号が重複した場合は先着順とします。
前年付けていたゼッケンナンバーを使用したい場合、主催者に確認してください

- 3) 各クラスに欠員が出た場合、一度決めたゼッケンを変更する場合があります。
また欠員のいる場合のレースでは連番とならないことがあります。
- 4) 各クラスのゼッケンは、1番から99番の範囲といたします。

第23条 ブリーフィング【ドライバーズミーティング】

参加ドライバーおよびエントラントは、必ずドライバーブリーフィングに参加しなくてはなりません。ブリーフィングに参加しない場合は、ペナルティの対象となります。

※エントラントミーティングを実施することがあります

第24条 ダミーグリッド関連

参加ドライバーはタイムスケジュールに準じ、指定のダミーグリッドにて出走準備をしないといけません。ダミーグリッドに整列した後は、メカニック作業は禁止され、部品の交換、給油、ケミカル用品の使用等も禁止されません。
これに違反した場合、出走を取り消されその競技に参加することは出来ません。

【ダミーグリッドの場所】

- 1) 公式練習、タイムトライアル、予選、プレファイナル時は、1
コーナー進入口手前 のパドックスペース付近に設置します

2) 決勝ヒート時は、ホームストレート上をスターティンググリッドとして使用します。

※タイムスケジュールが大幅に遅れた場合は、ダミーグリッドからのスタートになる場合があります

【注意事項】

ダミーグリッドに入った後に工具を使った作業を行う場合は、進行委員または技術委員にその旨を説明し、指定された場所のみ作業が認められます。

急激な天候変化の場合、ダミーグリッドでタイヤ交換を認める場合があります。

第25条 エンジン暖気

パドック内ではエンジンの始動チェックのみが行えます。

パドック内でのエンジンの暖気運転、から吹かしは禁止されています。

エンジンを暖気運転する場合、指定の暖気エリアにて競技委員指示の元、暖気運転やから吹かしを行えます。

エンジン暖気に関する違反はペナルティの対象となります。

注) 大会期間中エンジンに不具合が生じた場合は、車検へ申告の上、車検スタッフ及び車検長が任命したスタッフ立ち合いの元、指定された場所でのエンジンの始動確認を許可します。

(申告者が重複した場合は、始動確認許可を出さない場合があります)

第26条 レース方式

レースは、タイムトライアル、予選ヒート、プレファイナルヒート、決勝ヒートとし、決勝ヒートの結果により最終順位を決定します。

レース方式の詳細や、周回数等の変更がある場合、公式通知で発表します。

第27条 公式練習

「JAF国内カート競技規則カート競技会運営に関する規定第6章第23条」に基づき公式練習を行います。すべてのドライバーは公式練習に参加しなければなりません。またピットアウトしスタートラインを通過する前に本コース上で停止した場合も公式練習に参加したものと認められます。ピットインおよびピットエリア作業は認められます。

【公式練習からの流れ】

各クラス公式練習を10分間行います。コース上にカートが出られない場合は公式練習参加義務違反として、ペナルティの対象となります。

※公式練習に参加する意思がない場合は、レース除外となります

※交通事情等によって公式練習時間に到着出来なかった場合、事前に連絡があった場合に限り大会事務局に遅延理由書を提出し競技参加が認められる場合があります。

ただしタイムトライアル出走前までとなり、大会審査委員会の許可が必要となります。

第28条 タイムトライアル

1) すべてのドライバーは、公式通知に記載された時間内でタイムトライアルに参加しなければなりません。

タイムトライアルに参加しない場合はノータイムとなり、予選ヒートは最後尾からスタートとなります。

2) 各クラスの参加台数がフルグリッド台数を越えない限り、当該クラス全車が同時にタイムトライアルを行います。

3) タイムトライアルは以下の方法で行います。

(1) [タイムトライアル 7分間 計測]

7分間のタイムトライアル計測を行い、その時間内でのベストタイムを成績とします。

※競技方式の変更やその他の方式で行う場合は、公式通知にて発表します。

4) 時間内であればドライバーは自由にコースインすることができ、時間内であれば途中で停止した場合も再トライすることができますが、ピットロードに進入したカートはタイムトライアル終了となります。再コースインは出来ません。5) 計測は、コースイン後にスタートラインを通過したカートに対して、全てのラップを計測し、ベストラップのタイムを採用します。

①義務周回数は定めません。

②記録したベストタイムが同タイムの場合は、当該ドライバーが記録したセカンドラップを採用します。更に同タイムとなった場合は、サードラップで決定いたします。

③計測が出来なかった車両についてはノータイムとし、最後尾グリッドよりスタートとなります。複数台の車両がある場合は、ゼッケン順に配列されます。

④タイムトライアルが何らかの理由により中断された場合、残り時間分のタイムトライアルを再開します。再タイムトライアルの時間は、大会審査委員会が変更する場合があります。

6) タイムトライアル中、計測機トラブルによってラップタイムが計測できない事態がおきた時、計時による手計測のタイムデータまたは、参加者自身のカートに搭載されているデータロガーのタイムを採用する場合があります。

7) その他の方法でタイムトライアル行う場合は公式通知に示されます。

8) フロントフェアリングの正しい装着状態確認は、タイムトライアル後の車検で実施し、不具合がある場合は、第8章 第69条に準じて判断します。

第29条 予選ヒート方式

1) 予選ヒート数及びグリッド

- Micro・Senior・Novice 予選ヒート1回
・グリッド
予選ヒート・・・タイムトライアルの成績

2) 予選ヒートの周回数 (予定)

| クラス | 周回数 |
|-----------|-----|
| Micro MAX | 10周 |
| MINI MAX | |

| | |
|-------------|-------|
| MAX NOVICE | 1 2 周 |
| MAX Masters | |
| Senior MAX, | 8 周 |
| | |
| | |
| | |

注 1) 天候急変やアクシデント等の諸事情で、タイムトライアル、予選、プレファイナル、決勝ヒートを含む各クラスのスタート順や予選ヒート数、周回数を変更する場合があります。
変更になる場合は、タイムスケジュール及び公式通知で発表します。

| | |
|-------------|-------|
| Junior MAX | |
| MAX Masters | |
| Senior MAX | 1 0 周 |

第 3 3 条 RMC シリーズの決勝ヒート

1) 予選ヒートでグループ戦が無かった場合

- (1) 予選を通過した選手は、すべて決勝に出場できます。
- (2) グリッドは、予選ヒートの成績順により決定します。
- (3) 予選ヒートが同着の場合は、タイムトライアルの成績順 によります。

2) プレファイナルヒートを行った場合は、プレファイナルを通過したドライバーが決勝に出場できます。

3) 決勝ヒートグリッドは、予選ヒート順位およびプレファイナルヒート順位からグリッドを決定します。

4) 決勝レースに参加出来ない場合、その時点でレース終了となりますが、予選 ヒートポイントで獲得したグリッドは空席となってローリング隊列が形成進行されます。ただし、スタート前にリタイア届が出ている場合、その空いたグリッドを詰めて再度、グリッド編成をする場合があります。

5) 決勝ヒートの周回数 (予定)

第 3 2 条 プレファイナルヒート

1) グリッドは、予選ヒートの成績順によって決定されます。

2) プレファイナルの周回数 (予定)

| クラス | 周回数 |
|-------------|-----|
| Micro MAX | |
| M I N I MAX | |

| クラス | 周回数 |
|-------------|-----|
| Micro MAX | 14周 |
| MINI MAX | |
| MAX Novice | 18周 |
| MAX Masters | |
| Senior MAX | 16周 |
| | |
| | |
| | |

- 6) 決勝で同着の場合は、その順位を各対象者に与えます。
例；2着が2名いた場合 ⇒ 1位、2位、2位、4位…

第34条 スタート

- 1) 全クラス、スタート方式はローリング（2列の隊列）スタートとします。
- 公式練習、タイムトライアル、予選またはプレファイナルはダミーグリッドからコースインとなります。
- 決勝ヒートは、合図が出てからコース内に進入し、進行方法に向かって指示された場所を先頭に隊列を並べます。
- また、車両をグリッドに置いたあとはコース内からカートスタンドを速やかにピットエリアに移動してください。サポートとしてコース内に残ることができるのは、登録ピットクルーのみとなります。

- 2) ダミーグリッドからコースインする場合、スタートの補助は1コーナー両側に置かれたパイロンとパイロンを直線で結んだラインまでとします。
- 3) ローリングラップ1周で隊列を整えスタートします。
- 外気温度が著しく低く暖気走行が必要な場合や新品タイヤの装着で危険が予測される場合など競技長が必要と判断した場合はフォーメーションラップを増やす場合があります。
- 4) フォーメーションラップ開始後、スタート信号灯にレッドライトが点灯されます。
- 5) ローリングラップ中のドライバーは低速走行しポールポジションとセカンドポジションのドライバーはローリングラップのペースを保ち、隊列を整えながらホームストレートへ向かいます。
- 6) ローリングラップ中に、隊列から大きく遅れたと判断されたドライバーに対し、白地に赤×（バツテン）ボードが提示され、そのドライバーは隊列の最後尾に着かなくてはなりません。 ※ミススタートとなった場合も解消されません。
- また、ローリングラップ中にストップしてしまった車両は確実に全車通過、安全に自力で再スタートできた場合に限り隊列の最後尾につくことができます。
- ただし、危険地帯での停止等の場合、オフィシャルが手を貸しコースをクリアにする場合があります。この場合の再スタート判断は競技長が決定し場合によっては審議対象になる場合があります。
- また、ローリング隊列に遅れたドライバーはコース内でスピード調整をして隊列の前からペースを落とし自分のグリッドに戻ることはできません。
- 前方から戻った場合は、ドライバーに黒旗が振られ当該ヒート失格となります。

7) ローリングラップ中のポジション復帰禁止区間は、7コーナー進入の両側に引かれた赤い線上からコントロールラインまでとなります。(左右に設置してある緑パイロンが目印) この区間中にポジション復帰のため追い越しをするとペナルティとなります。

復帰違反の場合は、ドライバーに黒旗が振られ当該ヒート失格となります。

8) 不出走、白地に赤×でいなくなったポジション、ローリング中に停止したカートがいたポジションと、空席となったグリッドは他のカートによって詰めてはならず、スタート合図が出されるまで空席が維持されなければなりません。

9) ローリング隊列の先頭グループは、スタートラインの25m手前に引かれたイエローラインを通過するまで加速を禁止します。先頭グループは、後続の隊列を乱さないようにスピードを調整しなくてはなりません。

これに違反した場合はペナルティが課せられます。

たとえポールポジションでも、急加速によって隊列を乱す行為は、ペナルティとなります。すべての車両は隊列を守り、隊列を乱す行為はペナルティの対象となります。選手は隊列のスピードとポジションを守り、安全にスタート出来るよう心がけなくてはなりません。

自身のカートが不調に陥り加速出来ない場合、隊列内にいると危険だと予想された場合、必ずドライバーサインで周りに知らせ、安全にカートを停止させなければなりません。また以下の行為により赤旗によって競技が中断された場合、赤旗中断後の再スタート時のグリッドは最後尾とします。

※対象ドライバーが複数の場合、成績順に最高尾から並び直す処置を行います。

【グリッド最後尾になるような行為】

ローリングラップ中の隊列を著しく乱す走行、追突を招くような急減速な危険運転、ポジションを守れない走行等によってスタートを遅延させた場合。

【ヒート失格になるような行為】

ローリングラップ走行中、悪質な走行や多重クラッシュを招くような行為によって競技を継続できないような事故原因を発生させ、競技を中断させた場合。

10) 2列隊列がスタートライン手前25mラインを過ぎ、隊列が整ったと競技長が判断した場合、レッドライトを消灯してスタート合図を行います。

『レッドライト消灯と同じタイミングで、ピットエリアにスタートを知らせるため日章旗をメイン(センター)ポストで振ります』スタート合図が出ればコリドー白線をカットしても問題ありません。

ただしスタートの合図が出る前に、コリドー白線からタイヤがはみ出したり、隣のカートと接触するような行為をした場合は積極的な白黒旗が提示され、ペナルティの対象となります。

ペナルティの内容は、2021ペナルティカタログを参照してください。1

1) 『スタートディレイ』; 隊列の間隔やスピードが思わしくないと判断され、スタートができずローリングラップをさらに1周行う場合には、レッドライトの点灯を続けます。このときドライバーは手を上げ、もう1週の合図を出し、再び、スタートの合図が出るまでグリッドポジションの変更や追い越しをしてはなりません。

これに違反した場合はペナルティの対象となります。

12) 『ミススタート』; スタートを切ったが、そのスタートに何らかの疑似が生じた場合、4コーナー前にてミススタートフラッグが提示されます。

隊列はスタートを仕切りなおすため、再度ローリング隊列を整え速度を調整しながら再スタートに向け走行します。このときドライバーは手を上げ、【もう1周】の合図を出し、再び、スタートの合図が出るまでグリッド

ポジションの変更や追い越しをしてはなりません。これに違反した場合はペナルティの対象となります。

- 1 3) ローリング（隊列）ラップ中の先頭車両が、7コーナ進入手前のコース両サイドに設置されたパイロンとパイロンを直線で結んだラインに差しかかった時点でピットエリアからの出走はできません。

第35条 その他競技に関する注意事項

- 1) ドライバーは、危険回避義務があることを十分に理解しなければなりません。
- 2) 停止車両がドライバー自身によって、再スタートならびに車両移動ができないと判断された場合、オフィシャルの手によって安全な場所に車両を移動する場合があります。
この場合、通常はレースリタイアとなり当該ヒート競技が終了します。
また、危険地帯での停止や多重クラッシュによる車両の重なり等をオフィシャルが手を貸し救済補助する場合があります。このあとレースに一旦戻れたとしても、安全を優先し補助したので競技委員の判断により排除される場合があります。基本原則は、公式練習、タイムトライアルおよびレース中にスピン等で車両が停止した場合は、他を妨害することなく後続車両通過後、またはコース委員の指示があり、自力で再発進できる場合のみレースに復帰できるものとします。
復帰するための最小限の方向転換は認められます。

※Micro クラスの場合、カートを降りた時点で即レース終了という裁定もありますが、緊急の場合救助を優先いたします。

オフィシャルが手を貸したことによって、即リタイアというのではなく、安全を第一に考えて危険箇所から避難させるためだけに補助する場合があります。通常はカートを下りるか、オフィシャルによってカートを移動させられた時点で当該ヒート競技終了となります。

- 3) ピットインする場合はピットロードを必ず徐行しなければなりません。徐行を怠った場合や危険な走行はペナルティを課せられる場合があります。また、ピットインした場合はいかなる理由であっても必ずピットエリア内でストップし、エンジンを停止しなければなりません。その後、再スタートは認められません。
ただし、ピットエリア外やパドックおよびパルクフェルメ（計量場）に入った場合はレースリタイアとなります。
- 4) ピットサインが出せる場所は、指定されたサインエリアのみとします。ピットサインエリア外でサインを出す行為をするとペナルティの対象となります。
また、ローリングの隊列がコースインしたときから、隊列がスタートを切って1コーナを過ぎるまで、サインエリアへの立ち入りは禁止とします。
指定のピットサインエリアに関しては公式通知にて発表いたします。
- 5) ショートカットはオフィシャルの指示がない限り禁止となります。ショートカットをした場合、ペナルティの対象とします。ショートカットについての解釈は、走路でない場所を走行したドライバーが、その行為により有利になる状態が発生した場合を示します。
- 6) 競技途中、コース上に停止したカートがチェッカーを受けられるのは、1位のカートがチェッカーを受け、2分以内までとします。
- 7) レースを終えたカートは、車検場で車両検査をおこない、車両の適合、不適合を
大会審査委員または車検委員が審議し判断します。

8) 悪天候やレース進行上のトラブルによりクラス出走順を入れ替える場合があります。また赤旗によりレース中断した場合も同様の措置をとる場合があります。

9) タイムスケジュールの基準時計をコースに設置します。
各ヒートのスタート定刻までにダミーグリッドに来ていないカートがいたとしても、時間通りにコースインとします。
公式のタイムスケジュールが早まった場合や遅れている場合に関しては、アナウンスでスタート時間をお知らせします。

第36条 ドライバーの装備品

1) レーシングスーツとフルフェイスヘルメット レーシングスーツはC I K / F I A (FMK)公認またはJ A F公認のレーシングスーツ着用が義務付けられます。

※装備品は、S Lカートミーティングクラスやイベントクラスで過去に公認実績があれば使用できます。ただし、汚れ、ほつれ、穴の開いていない清潔なものとしします。

ヘルメットは規格公認品を使用し、保護の役割を果たさないと判断した場合や著しく損傷しているものは使用不可とします。

また、使用年数が10年を越えるものも使用できません。

2) C I K公認ジュニア用ヘルメットの装着について
15歳以下のドライバーに対し、C I K公認ジュニア用ヘルメットの装着を推奨します。

3) 捨てバイザーの使用は認められますが、コース上に投げ捨てることは一切禁止とします。投げ捨てた場合はペナルティとなります。

また走行中に、シールドや捨てバイザーが外れかけている場合でも、オフィシャルが危険と判断した場合は、オレンジボールの対象となりますので、ご注意ください

4) Micro クラスのドライバーに対し、ネックガード、プロテクターを必備とします。

第37条 信号旗

「J A F国内カート競技規則」カート競技会運営に関する規定第3章に従ってください。競技旗や白地に赤バッチのボード、その他の合図は基本ホームストレートのメインポストにて、ホームストレート側、バックストレート側で提示します。

その他の競技旗は、各コーナーポストで競技委員が提示します。それ以外の方法を取り入れる場合は、公式通知で発表します。

1) 『白地に赤バッチのボード』 ローリング隊列から大きく遅れたと判断され、白地に赤バッチボードが提示されたドライバーは最後尾に着かなければなりません。

対象ドライバーは、スタートが切られるまで最後尾を維持します。

2) 『緑旗』
(1) ダミーグリッドからのスタート合図は緑旗（グリーンフラッグ）を用います。

(2) イエローフラッグ（追い越し禁止）解除に用います。
イエローフラッグ提示ポストから、追い越し禁止解除ポストで、グリーンフラッグを提示します。

3) 『白黒旗』

以下の場合、対象ドライバーに対し積極的に白黒旗が提示されます。

- (1) ローリングスピード落とさないドライバー
- (2) ローリング隊列の自己ポジションを無視して乱すドライバー
- (3) 走行マナーが悪く、非スポーツマン的行為をして競技を乱すドライバー
- (4) スタート後に、同じドライバーが白黒旗の対象になるような行為を重複して行なった場合そのヒートで白黒旗累積2回になり黒旗が提示され失格となります。

※白黒旗は、その他のヒートには累積されません。

4) 『オレンジボール旗』

競技中に、車両装備品の脱落や不具合発生またはドライバーの安全装備品に不具合やその装備品に脱落が発生した場合などに対し、ピットエリアに戻りその箇所を修復し、競技に戻りなさいという状況で運用します。

修復出来ない場合、ピットエリアで競技を終了しなくてはなりません。

また競技残り僅かな周回や最終ラップの場合、競技中のアクシデントによる車両装備品の脱落や不具合が発生したとしてもオレンジボール旗を提示出来ない場合があります。

※大会審査委員の審議とペナルティカタログに準じペナルティを判定しす。

- 5) 競技中に、吸気、排気装置にトラブル・脱落が発生した場合、ただちに安全な場所へ停止するかパドックに入って競技を終了しなくてはなりません。

競技を続行している場合、そのドライバーに黒旗の提示を行い競技を強制終了させます。 ※ただし、安全上問題がある場合は、その限りではありません

注) 安全上問題がある場合、オレンジボール旗で修理させる場合もあります

6) 『黒旗』

悪質または危険、ドライバーマナーやモラルの欠如したルール違反の参加ドライバーに対し提示されます。レースを直ちに終了しなさいという意味で、対象ドライバーはピットイン後に競技長の元に出頭しなければなりません。

7) 【イエローフラッグからグリーンフラッグ制導入の実施】

イエローフラッグからの減速、追い越し禁止区間を、イエローフラッグから対象障害物ではなく、次のポストで提示するグリーンフラッグまでの運営を実施します。

各ドライバーは、グリーンフラッグ先から、スピードアップや追い越しができるものとします。

これまで通り、コース上やコース脇で、停止車両や事故が発生している場合、その手前のポストでイエローフラッグが振られます。イエローフラッグから対象車両までがイエローフラッグ区間ではなく、グリーンフラッグを超えるまでが、減速、追い越し禁止区間となります。 ※補助としてイエローのLEDランプを点滅させます

注) 軽度なスピン程度の場合、グリーンフラッグを出す前に対象エリアの区間が解除になる場合もあります。

第38条 レースの中断

- 1) 「JAF 国内カート競技規則 カート競技運営に関する規定」第9章 第35条「レースの中断」に準じ、赤旗提示の場合ドライバーは直ちに速度を落とし、レースを中断するため追い越しをせず、オフィシャル指示に従い停

止できる体制でホームストレート上のスタートライン手前で徐行して停止します。

その場合、センターを空けて危険を回避することに努めてください。

競技長の指示があるまでピットクルーはグリッド上への介入および車両の整備をおこなってははいけません。また、工具を用いた修理等は一切禁止されます。

修復が必要になったカートはピットエリアで修理し、レースに復帰できる場合があります。

- 2) 赤旗によって競技中断となった場合、競技長より指示がない限りメカニック作業（プラグ交換やフロントフェアリングの修正）や給油等はできません。この場合、再スタートの時間を決め作業実施の有無や再スタート出来るカートの確認を行います。

作業を実施する場合基本ピットエリアになりますが、最短時間で再出走出来る場合、コース上での軽作業を認める場合があります。

赤旗後の処置については予選と決勝で裁定が異なりますので、公式通知にて提示します。

- 1) ピット内およびピット前作業エリア（ピットエリア）で作業できるのは当該クラスに出場しているドライバーと登録されたピットクルーのみとします。

- 2) また無登録の者がピットエリアで作業すると、違反行為になりピットクルーペナルティが課せられます。

ピット作業エリアはコントロールタワーからダミーグリッドまでのピットロードわきとする。

ピット作業をエリア外で行うと「ピット外作業」に該当しペナルティの対象となります。

- 3) コース内での回収作業、グリッド上でのスタート補佐などは、登録されたメカニック およびピットクルーとドライバーのみとします。

- 4) ピットクルーの行為については、「JAF 国内カート競技規則」カート競技会参加に関する規定18条」に基づき、ドライバーに直接責任があるものとします。

ピットクルーによる規則の違反で、対象ドライバーに黒旗を提示することがあります。

- 5) パドックエリアにおいて火気および発火物の使用は禁止されません。

- 6) ピットロードはスルー通過できません。（ペナルティの対象となります）

第39条 ピットクルーおよびピットエリア、パドック

- 7) 赤旗によって再スタートまでの時間内にメカニック作業や給油を行う場合、
競技長の指示の元、必ずピットエリアにおいてのみ、その作業が認められます。

第41条 給油

レース中のピットエリアおよびダミーグリッド、コース上での給油は禁止とします。

許可なく給油をした場合、当該ヒートの出走を認めないかレース途中の場合は当該ヒート失格とします。悪質な場合、レース除外とします。

赤旗中断等による緊急時、再走行準備のため給油する場合は競技長から許可が出たあとアナウンスによって給油が認められる場合があります。

給油が出来る場所はピットエリアのみとなります。

第42条 燃料（ガソリン）の指定

「JAF国内カート競技車両規則」第2章 第25条 に準じ、ガソリンスタンド計量器から

販売されている『一般市販の無鉛ハイオクガソリン』を使用しなければなりません。

第43条 レース終了

- 1) 決勝ヒート着順1位のドライバーがフィニッシュライン通過後2分以内にカートが同ラインを通過したドライバーに対してチェッカーフラッグが振られます。
- 2) 先頭車両にチェッカーフラッグが提示された時点で、ピットロード出口はクローズとなりピットエリアにとどまっているカートは再度コースイン認められません。
- 3) 車両を押してチェッカーフラッグを受けることは認められません。
- 4) レース終了後のダブルチェッカーは厳重警告となります。

第44条 完走

完走とは、チェッカーフラッグに関係なく規定周回数の1/2以上を完了していること。ただし、車両検査で適合しなければなりません。

第45条 順位の決定

レースの順位は次の順序により周回数の多い順に決定されます。

- (1) 完走者（チェッカーを受けたドライバーで車検を通過したドライバー）
- (2) 完走者（チェッカーを受けていないドライバーで、車検を通過したドライバー）
- (3) 不完走者※DNF（完走扱いにはならないが、車検を通過したドライバー）
- (4) 不出走者※DNS（順位はつかず、リザルトには掲載される、出走する意思はあったが結果、出走できなかった選手）
- (5) 失格者※DQ（順位はつかず、リザルトには掲載されます） ※上記対象者が複数の場合は、ゼッケン順で並べます。
※ペナルティ対象の選手がDNF選手より順位が下回る場合は、DNF選手を優先とします

第46条 車両保管および公式車両検査

- 1) 「JAF国内カート競技規則」カート競技会参加に関する規定第3章に基づき、車両検査が行われます。公式車検ではレーシングスーツも車検の対象となります。
CIK/JAF公認実績のあるレーシングスーツの着用が義務付けられます。規則に不適合な部分がありながらも、なお技術委員に発見されなかった場合でも承認を意味するものではなく、レース中にそれに関する疑義が生じた場合は旗の指示を受ける場合があります。

- 2) 公式車検の日時および場所は公式通知にて通知します。※時間厳守
- 3) 各ヒート終了時には必備部品が備わっているものとします。
※必備部品の軽度なズレなどに関しては、車検長の判断になります
- 4) 決勝レース終了後は、指定車両に対し車両保管および再車両検査を行います。
- 5) 車両保管の時間は決勝レース終了後30分以上とし、所定の場所で行われます。保管中は技術委員の指示があるまでは保管カートに一切触れてはなりません。
- 6) 車両保管解除後は、車両をすみやかに引き上げなければなりません。
- 7) 技術委員長は、スタートした全ての車両に対して検査を行なう権限を持ち、技術委員長より検査の指示があった場合は、参加者もしくは登録されたピットクルーが責任を持って、車両やエンジンの分解および組み立てを行うこととします。
また、関係役員、エントラントおよびドライバー、登録されたピットクルー以外は検査に立ち会うことはできません。
車検対象車両やエンジンの検査終了後は、すみやかにエンジン、部品、工具類など一式を必ず引き上げなくてはなりません。
- 8) 本条項の検査に応じない場合は失格とします。
- 9) 記条項の違反者には、大会審査委員会の決定するペナルティが課せられます。

第3章 ペナルティ〔罰則〕に関する事項

第47条ペナルティー

- 1) 2021年競技規則に基づく危険・反則行為に対しペナルティを課します。
ペナルティの判断は競技長や審査委員長（大会審査委員会含む）によって国内格式競技罰則やフェスティカサーキットグループの罰則（ペナルティカタログ）等の資料に基づき決定されるものとします。
- 2) ドライバーサインを怠ったドライバーやドライバーマナーを厳守していないドライバーに対し注意、警告とする場合があります。
- 3) 競技会中の反則行為について、ドライバーを停止させることなくペナルティを課す場合があります。

第48条 ペナルティポイント

2021年から『ペナルティポイント制度』を採用いたします。

「目的」

レース中の危険行為、アンフェアな非スポーツマン行為、競技進行を乱す行為、暴力的な行為などを招くドライバーを対象にします。

※エントラントが当該行為を招いた場合もペナルティポイント対象になります。競技中のペナルティに基づき、大会審査委員（スチュワード・ジャッジ員）が判断します。【ペナルティポイントは、1 から 3ポイントまでとします】

- 1) ペナルティポイントは、最大12ポイントまで累積されます

→シーズン中に12ポイントに達すると、シリーズの出場停止となります。

- 2) 発生した日から1年経過するまで失効されません
- 3) 参加クラスを変更しても累積されます

【ペナルティポイントの他に決勝ヒートで悪質なペナルティを受けた場合】

次戦のグリッドダウンや出場停止も検討されます

【1大会中に3回以上ペナルティを受けたドライバーの場合】

次戦のグリッドダウンや出場停止も検討されます

『例1』 決勝ヒートにおいて、スピードを落とすことなくイエロー無視を行い、他車と接触しフラッグ無視と危険行為のペナルティを受けた…

『例2』 フラッグ無視ペナルティで成績に10秒加算危険行為も重なり当該ヒート失格になった…



◎スチュワード・ジャッジ員の判断は ⇒ ペナルティポイント3

ここで受けたペナルティポイントは累積され、次戦以降も加算されていきます。

ペナルティポイント表に累積ポイントを記載、大会1週間前に公式通知で発表します。

シーズン途中で制度の変更がある場合、公式通知によってエントリー、参加ドライバー、競技関係者様へお知らせいたします。

第49条 その他一般事項

- 1) 変更事項が生じた場合は公式通知にて通知します。
- 2) 技術委員に承認されたデータロガー(データ蓄積装置)およびタコメーターの使用は可能とします。
ただし、データロガー用のトランスミッター(発信機)の設置場所はコース外としオーガナイザーによって承認された場所のみとします。
- 3) オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の一部あるいは全部を延期、中止する事ができます。
なおエントリー、ドライバーはこれによって生じる損失についてオーガナイザーに抗議する権利を有しません。
さらに、オーガナイザーは大会審査委員会の承認を得て大会の内容を変更する権限もあわせて保有するものとします。これに対する抗議は認められません。
- 4) パドック、ピット、ピットエリア内での火気の使用は禁止されます。
※施設の告知や注意事項を守ってください。また、ゴミの不法投棄をした場合は施設内に投棄したすべてのゴミを必ず後日でも処理していただきます。
- 5) 施設敷地内喫煙は禁止されます。
- 6) 使用するピット・パドックは主催者側で指定させていただきます。

第50条 審判員〔競技オフィシャル〕

- 1) 「JAF国内競技規則」10-20に基づく審判員の判定は、本大会特別規則を参照に実施します。
- 2) 審判員〔競技委員〕の氏名は、公式プログラムもしくは、公式通知で示されます。

第4章 抗議、暴力等に関する事項

第51条 抗議

- 1) 「JAF国内カート競技規則」第13章に基づき、抗議は書面にて抗議料を添付の上、エントラントより競技長を経由して大会審査委員会に提出するものとします。
 - (1) 技術委員または車両検査委員の決定に対する抗議は車両検査後15分以内とします。
 - (2) 競技中の過失または反則に対する抗議はその競技終了後30分以内とします。
 - (3) 競技の成績に関する抗議はその発表後30分以内とします。
- 2) 大会運営役員に対する各抗議はエントラントのみ受け付けるものとし、抗議料は、現金22,000円とします。(JAF国内カート競技規則・付則、カート競技に関する申請・登録等手数料規定に関する第8条に基づく) 提出された抗議により再車検等を実施し、その抗議が成立した場合には再車検等の要した費用ならびに組み立て費用は被抗議者であるエントラントおよびドライバーの負担とし、これと反対に、当該車両等が規則通りのものであることが判明した場合は、抗議提出者がそれらの費用を負担しなければならず、費用の算定については技術委員長に委ねられます。
- 3) エントラント及びドライバーの遵守事項
 - (1) エントラントは自己の係る全ての者にすべての法規及び規則を遵守させる責任を有します。

- (2) エントラント、ドライバー及びピットクルーは本特別規則の下で開催される競技会中に生じた事態についてコースの所有者、主催者とその関係者及び大会役員に対していかなる責任も追及できません。
- 4) エントラント、ドライバー及びピットクルーは、競技委員やレースジャッジに対し、スポーツマンらしくからぬ行為や不謹慎な言葉遣い、暴言、威圧、あるいは競技を妨害する行為をとった場合、当該競技会失格とします。※施設退去の場合もあります
- 5) 競技会場での言葉による脅しや侮辱、威圧、暴力行為をした場合、当該競技会失格または施設から退去していただきます。
主に、選手に対しての暴力（特に子供へ）選手間同士の暴力は目に余る物がありますので人道的な対応を心よりお願いいたします。
- 6) 主催者や大会審査委員、選手間に対して、SNS等で誹謗中傷、侮辱をした場合、競技会の参加を取り消す場合やエントリーの拒否をする場合があります。7) 規則の解釈、本規則ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものといたします。

第5章 賞典およびシリーズに関する事項

第52条 賞典と副賞（各賞典内容は変更になる場合があります）

- 1) 決勝の順位によって賞典対象を決定します。
- 2) 賞典はドライバーに対して行われます。
- 3) 内容は全クラス、次のように定めます。

| | |
|----|----------|
| 1位 | トロフィーと副賞 |
|----|----------|

| | |
|------|----------|
| 2位 | トロフィーと副賞 |
| 3位 | トロフィーと副賞 |
| 4位以下 | 副賞 |
| | |

第53条 シリーズポイント

1) シリーズポイント（与えられる得点は次頁表を適用します）は、RMC シリーズクラスの決勝レース完走者（規定周回数の1/2以上を走行し、車両検査で適合を受けたドライバー）のみに与えられ、不完走者、失格者および不出走者には与えられません。2) 決勝ヒートにおいて、ポールポジションのドライバーに3ポイントが加算されます。

ただし対象者が適合車両、エンジンでなかった場合は、付与されません。

注) 最終戦の PP ポイントは、3 ポイントです。1.2 倍にはなりません。

- 3) 全戦出場者には、ボーナスポイントとして5ポイント加算します。
- 4) 最終戦出場者には、ボーナスポイントとして、獲得ポイントを1.2倍加算します。
- 5) 通常、シリーズ戦ポイントは、開催大会数より、1つ少ない大会の上位ポイントを有効とします。
- 6) 獲得ポイントが同一の場合は、以下の順で決定いたします。
- (1) 上位入賞回数の多い者。

- (2) ポイント、上位入賞回数と同じ場合は、最終戦の成績が上位の者。
- (3) 出場回数が多い者。

[通常のシリーズポイント表]

| 順位 | ポイント | 順位 | ポイント | 順位 | ポイント |
|----|------|----|------|----|------|
| 1 | 25 | 8 | 13 | 15 | 6 |
| 2 | 22 | 9 | 12 | 16 | 5 |
| 3 | 20 | 10 | 11 | 17 | 4 |
| 4 | 18 | 11 | 10 | 18 | 3 |
| 5 | 16 | 12 | 9 | 19 | 2 |
| 6 | 15 | 13 | 8 | 20 | 1 |
| 7 | 14 | 14 | 7 | | |

7) 最終戦は、以下の表の通り決勝成績の獲得ポイントを1.2倍とします。

[最終戦のシリーズポイント表]

| 順位 | ポイント | 順位 | ポイント | 順位 | ポイント |
|----|------|----|------|----|------|
| 1 | 30 | 8 | 15.6 | 15 | 7.2 |
| 2 | 26.4 | 9 | 14.4 | 16 | 6 |

| | | | | | |
|---|----------|----|----------|----|-----|
| 3 | 24 | 10 | 13. 2 | 17 | 4.8 |
| 4 | 21. 6 | 11 | 12 | 18 | 3.6 |
| 5 | 19. 2 | 12 | 10. 8 | 19 | 2.4 |
| 6 | 18 | 13 | 9.6 | 20 | 1.2 |
| 7 | 16. 8 | 14 | 8.4 | | |

8) 南幌シリーズポイント累計は、最終戦終了時に集計し、総合の獲得ポイント順によってシリーズチャンピオンが決定されます。

第54条 シリーズの成立とシリーズ賞典

- 1) RMC シリーズの成立
4大会の開催でシリーズ成立とします。
- 2) シリーズ賞典；正賞
各クラスのシリーズランキング1位～3位までに、シリーズ賞が与えられます。
- 3) 副賞 RMC シリーズ 各クラス
シリーズチャンピオン：チャンピオン盾を贈呈
シリーズ2位から3位：シリーズ入賞品と記念の盾を贈呈

※賞典内容はシリーズの参加台数などによって変更する場合があります。

第6章 広告に関する事項

第55条 競技と広告について

- 1) ナンバープレートに広告を表示することは認められません。
- 2) 広告（スポンサーステッカー、協賛等のロゴ）については車両検査までに取り付けてください。
- 3) オーガナイザーは次の者に対し抹消する権限を有しドライバーはこれを否定することはできません。
 - (1) 公序良俗に反するもの
 - (2) 政治、宗教に関連したもの
 - (3) 本競技会と関係するスポンサーと競合するもの

第56条 肖像権および個人情報に関する事項

- 1) 肖像権

主催者、共催者、およびこれらの指定した第三者は、参加者の写真その他の肖像、参加車両の写真、デジタル画像、音声、映像等を Web-site、報道、放送、出版等に用いることができます。

2) 個人情報

レース並びに共催者は、個人情報の保護に関する法律（平成15年5月30日法律第57号）に基づき、レースイベント参加者の個人的情報を、下記業務ならびに利用目的の達成に必要な範囲で利用いたします。

【業務内容】 レースイベントの受付、レースイベントのプログラム作成、レースイベントの状況撮影、レースイベントのリザルト（成績表）作成、保険加入有無の確認、その他、レースイベントを円滑に行うことができる業務およびこれらに付随する業務。

【利用目的】

- 1) レースイベント事務手続きを行うため
- 2) レースイベント参加者の個人成績を公表するため
- 3) レースイベント内容を、ホームページやその他の SNS で情報を公開するため
- 4) レースイベントの状況動画や画像配信をおこなうため
- 5) レースイベント中に事故があった場合、関係各所にて保険処理をおこなうため

第7章 その他に関する事項

第57条 損害補償

1. すべての参加者は、自己の過失により、施設の器材、計測器等、その他諸々に損害を与えた場合は、その損害について責任を負うこととします。
2. 主催者および大会役員の業務遂行により起きたドライバーおよびピット要員の死亡、負傷および車両の損害に対して南幌町、主催、共済、後援、協力、協賛するものおよび大会役員は一切の補償責任を負わないものとします。

第58条 本規則書の解釈

本規則書ならびに競技の細則に関する解釈に疑義が生じた場合は、大会審査委員会の決定を最終的なものとみなします。

第59条 本規則書に記載されていない事項

本規則書に記載されていない事項は、2021 F I A (国際自動車連盟)の国際モータースポーツ競技規則と国際カート規則、それに準拠した 2021 年 J A F (日本自動車連盟)国内競技規則と J A F 国内カート競技規則、2021 年 本大会特別規則書とその車両規定、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 MAX の車両規定に準拠します。

第8章 カートに関する事項

第60条 シャシー、エンジンおよびタイヤの登録関連

競技に使用するシャシー、エンジンおよびタイヤは車両申告書に登録済みのものとし、次の個数が登録できます。

| 対象クラス | シャシー | エンジン | タイヤ |
|-------------------|------|------|-----------------------|
| Micro MAX クラス | 1台 | 2基 | ドライ 1セット ウェット 1セット |
| MINI MAX クラス | | | |
| ジェントルマンクラス | | | |
| Senior Lights クラス | | | |
| MAX チャレンジクラス | | | |

第61条 エンジン登録とエンジン交換規定

- 1) 全クラス、規定に合致する仕様のエンジンを2基まで登録することが可能です。
- 2) 公式練習後やその他のヒート後にエンジン交換が生じた場合、登録内のエンジンに交換が可能です。
- 3) エンジンを1基しか登録していなかった場合、公式練習、タイムトライアル、予選、グループ戦やプレファイナル等の後にエンジン交換が生じエンジンを追加登録する場合は、技術委員に確認立ち合いのもと大会審査

委員会の承認を得てエンジン交換書面提出後、別なエンジンを1大会1回のみ追加することが可能です。この場合、次のヒートのグリッドは最後尾スタートとなります。

- 4) 追加エンジン登録を車検後にした場合、公式練習後の次ヒートグリッド最後尾というペナルティはタイムトライアルには出走出来ますが、エンジン交換した選手のタイムリザルトは反映されることはなくノータイムとなり、予選ヒートのグリッドは最後尾スタートとなります。
- 5) 車検後に登録したいエンジンを追加する事務手数料は、5,000円とします。料金を事務局に支払い、エンジン追加登録の手続きを事務局で行ってください
- 6) 登録済のエンジンが2基とも破損した場合、登録外のエンジンを1基追加登録し使用することを認めます。ただし、下記の要項を満たすこととします。
 - 1、車検長が、2基とも破損状態で使用不能と判断した場合
 - 2、その後の出走予定ヒートに間に合うよう作業が出来ること
 - 3、エンジンを追加する事務手数料、5,000円を事務局に支払うこと
 - 4、出走予定ヒートのグリッドは、最後尾ということを了承すること
- 7) エンジンはシェアすることが認められます。ただし、エンジンシェアに関しては双方のドライバーまたはチームがエンジン登録書にシェアすることを記入しなくてはなりません。
- 8) エンジン検査対象となるドライバーが、交換したエンジンまたはシェアエンジンでレースを終了した場合、交換した登録エンジン、シェアエンジン、使用部品すべてが車検対象となります

9) エンジン交換によって、最後尾スタートの車両が複数いる場合、次ヒートのスタートは、競技長にエンジン交換申告順にグリッドを決定します。

10) エンジンの交換申請書は、次出走ヒートのスタート20分前までとします。

第62条 カート

カート車両は本特別規則書技術規定に合致した車両であることとします。

注) リブレ申請車両：MAX Masters、『制限付き格式』において条件付きドライバーが使用する車両には、ハンドアクセル、ハンドブレーキ装置が搭載され、その装置はしっかり固定され、円滑、安全に機能しなくてはなりません。事前検査において万が一不具合があった場合は速やかに修復するか、または交換が必要となります。

指摘された不具合が修復できない場合は競技に参加できません。

第63条 シャシー規定

1) 2クラス以上のクラスに参加する場合、登録した1台のシャシーに、エンジンを載せ替えて参加することは出来ません。

その場合、各クラス用に使用するシャシーを準備してください。

2) 競技中の事故等によって登録したシャシーが使用不能になった場合限り、未登録のシャシーに交換し次のヒートに参加することが出来ます。

ただし、下記の要項を満たすこととします。

①車検長が走行不能または、修理不能と判定した場合

②次の出走予定ヒートに間に合う場合

※出走時間に遅延した場合、参加は認められず、DNSとなります

③シャシー交換申請手数料 『5,000円』を事務局に支払っていただきます

第64条 タイヤ

1) 各クラスの使用タイヤに刻印されている指定方向（ローテーション）は、装着時にすべて同じ指定方向を向いた状態で組付けされていなければなりません。

この指定方向を間違えて使用した場合、ペナルティとなります。

『注意』

ローテーション規定は公式練習から適用となります。

違反の場合、当該ヒートもしくは次ヒートのタイム加算ペナルティとなります。

2) 公式練習中のタイヤ交換は認められます。

ただし、Micro MAXクラスとMINI MAXクラスは、公式練習中から指定の登録タイヤのみ使用となっていますので、登録済みの「ドライタイヤ」または登録済みの「ウェットタイヤ」内での交換になります。

3) 参加者はタイヤの両側面にゼッケンを記入（文字色は主催者が決定）したタイヤでタイムトライアルに出走して下さい。タイムトライアル終了後、車検場にて車検委員によりタイヤ封印を行います。

封印後のタイヤは、5)の事項以外交換できません。

4) 不慮のトラブル（バースト、タイヤの不具合）の場合、技術委員長の承認のもとに1本のみ交換が認められます。※差し替えのタイヤは中古の同等品とします。

5) レース使用タイヤへの溶剤塗布、加工、表面を工具などによる削る行為などは 禁止されます。その行為が発覚した場合、当該レースから除外されます。

6) レース中、器具や暖房機によって、タイヤを故意に温めることは禁止されます。

発覚した場合には、ペナルティが課せられます。

ペナルティの内容は、2021ペナルティカタログを参照してください。

7) 公式練習とタイムトライアルが連動している場合、登録したドライタイヤ（雨天時 はウエットタイヤ）を、公式練習から使用することになる場合があります。

この場合、必ず公式通知で発表されます。

必ず、ゼッケン記入済の封印されたタイヤを使用してください。

8) レース当日、路面コンディションが微妙で、ドライかウエットタイヤを使用するか の判断に迷う意場合、どちらの登録タイヤを使用するかは、エントラント、選手の判断任せの場合と、間違いなくウエットタイヤを使用する路面コンディションの場合、イコールコンディションを保つため新品タイヤでコントロールする場合があります。

この場合主催者側より、スタートに間に合うよう30分前をめどに使用タイヤのコンパウンドをアナウンスします。

【ウエットタイヤ注意事項】・・・使用できるウエットタイヤは1セットです
ただし、路面コンディションの著しい変化によって、使用していたウエットタイヤの性能が安全を確保できない場合、審査委員会が判断し、全員がもう1セット使用できることがあります。

また新品のウエットタイヤ使用開始時期について、登録したウエットタイヤは、イコールコンディションを保つため、新品の状態タイムトライアル

ルから使用という場合や公式練習から使用ができるという場合があります。

※公式練習中に、ウエットタイヤの皮むき行為は禁止とします。

第65条 最低重量

最低重量は以下の通りとします。

| クラス | 最低重量 |
|--------------|-----------|
| Micro MAX | 1 1 0 k g |
| | |
| MAX NOVICE | 1 5 5 k g |
| | |
| MAX Masters, | 1 6 5 k g |
| Senior MAX | 1 6 0 k g |
| | |

【重量規定調整用ウエイトに関して】最低重量を満たすためにウエイトを取り付ける場合、ウエイトは全て固形の材料を用い直径最小6mm 以上、少なくとも2本のボルト用いてシャシーまたはシートに取り付けてください。

※ただし 1K g 以下のウエイトで、取付穴が1か所しかない場合は、直径最小8mm 以上のボルトで固定してください。取り付け方法が危険な場合、そのカートの所有者またはドライバーに対して、取り外しまたは、再固定を命じる場合があります。

第66条 インテークサイレンサー

ROTAX MAX Challenge 各クラスは、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting

Regulations 2021、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Technical Regulations 2021を参照し、合致したモデルを使用してください。

またインテークサイレンサーの空気取り入れ口付近に、空気の流れを変える装置や整流板、導風板等を取り付けることは禁止されます。

それに類する装着物が発見された場合は取り外しが命ぜられます。

ウエットコンディションで、吸気口の雨カバーやインテークサイレンサー周辺の雨進入防止板を装着する場合ウエットタイヤ装着時限定となります。ウエットタイヤを装着していない時に同様のものが車体に取り付けられていたことが

判明した場合、車両不具合となり車両違反の対象となります

第67条 外装品・タイヤ位置規定

前後輪ともカウル等の外装品とリアプロテクション（過去に公認取得済みのものに関しても使用可能）の装着を義務付けます。

またタイヤ位置は、ドライ・ウエットを問わず、前後輪ともカウル外装品とリアプロテクションの一番外側から 1mm 以上外にでていることとします。

第68条 フロントフェアリング規定

車両に取り付ける外装品は、過去に公認取得済みのものが使用可能です。

取り付ける際の加工や改造は禁止されます。

CIK 公認 2015-2020 のフロントフェアリング必備になります。

第69条 フロントフェアリング位置規定

指定のフロントフェアリングが正しい装着状態でなかった場合、タイ

ム加算ペナルティになります。違反寸法、加工取り付けのないように装着してください。

ROTAX MAX SERIES ではフェアリングペナルティの判定を次の通りとします。

①競技中の接触による脱落や正しい装着位置からのずれが発生した場合

競技成績に5秒加算

注；起因に関係なく、対象車両はすべてペナルティとなります。

例：スタート前に何かの接触によってフェアリング取り付け位置が規定よりずれた…パルクフェルメ進入時に前車に接触でずれた…などでも対象です。競技終了後のパルクフェルメにて、競技委員とドライバーにて確認後に決定します。ドライバーは指示が出るまで、カートから降りることはできません。

②原因が、プッシングや幅寄せ等のドライバー危険行為が要因だった場合

競技成績に1～10秒の加算 違反行為の度合いによって決定されます

※1ヒート内で、①、②同時に発生した車両の場合は、最高15秒加算となります。

悪質かつ危険な行為があった場合は、当該ヒート失格となる場合もあります。

【 詳細な判断基準は、ペナルティカタログを参照してください 】

③正規の位置からずれたフロントフェアリングを修正した場合（例）注

注1：走行中に足などを使い、位置を修正しようとする行為

注2：停止した際に、位置を修正しようとする行為注

注3：パルクフェルメで、位置を修正しようとする行為

※参加ドライバー自身、メカニック（ピットクルー）、チーム員など、誰でも故意に位置を修正すれば、その車両のドライバーは競技から失格となり参加していた競技から除外され、成績は抹消されます。

④車両検査において、フロントフェアリング及びブラケット、クランプへのフロントフェアリングが脱落しにくくなる加工や改造、著しい破損（亀裂等）が見られる、と車検長が判断した場合には、フロントフェアリングペナルティの対象となります。

次ヒートからそのフェアリングを使用することは出来ず、別の物へ交換していただきます。

第70条 ブレーキ

フットペダルにより両方のリアホイールに同時かつ有効に作動しなければなりません。

RMC シリーズ各クラスにおいて、フロントブレーキ付きシャシーの使用を禁止します。

第71条 ブレーキダクト装着の許可

ブレーキダクトの装着はシャシーのブレーキ側に1本のみとし、ダクトに使用出来る

空気通路部分は円周・四辺で計測し30cm 以内とします。

※取り付け方法、使用許可品はJAF規則に準じます。

ただし、一般市販品や純正品に限ります材質は柔軟で割れにくいプラスチック素材または、アルミ製の方向が変えられるジャバラ状の筒で、空気の吸気部が丸形状のものは円周、四角のものは四辺で計測し60cm以内とします。

第72条 ネックガードおよびリブプロテクター

Micro MAX、MINI MAX、Junior MAX および12歳以下（小学生）のドライバーは、ネックガードとリブプロテクターを必備とします。中学生以上のドライバーは、ネックガードおよびリブプロテクターの装着を強く推奨します。

第73条 ラジエター

- 1) 各クラスは、ROTAX MOJO MAX CHALLENGE Sporting Regulations 2021、ROTAX

空気通路部分は円周・四辺で計測し30cm以内とします。

※取り付け方法、使用許可品はJAF規則に準じます。

ただし、一般市販品や純正品に限り材質は柔軟で割れにくいプラスチック素材または、アルミ製の方向が変えられるジャバラ状の筒で、空気の吸気部が丸形状のものは円周、四角のものは四辺で計測し60cm以内とします。

- 3) 装着状態は車検員に確認され、不具合がある場合は再度、取り付け方を指示される場合や取り外しを指摘されることがあります。
- 4) 冷却水は水のみとし、不凍液やそれに相当する液体の使用は認められません。
- 5) 純正品のシャッターカバー以外でラジエターの冷却調整をする場合、ガムテープのみ使用を認めます。この場合、**ガムテープはラジエターに対して1周巻き以上に貼り付け、はがれることのないようにしてください。**

第74条 テレコミュニケーション

コース上のドライバーとそれ以外の者との間で連絡ができるテレコミュニケーション（遠隔通話装置、無線装置など）の使用は、公式練習から決勝ヒートまで禁止となります。

この事項に対する抗議は一切受け付けられません。

第75条 空力装置、補強部品、安全ガード、一般市販オプション品

※取り付け方法、使用許可品は、2021年 JAF規則に準じます。

MAX CHALLENGE Technical Regulations 2021 を参照し、合致したモデルを使用してください。

- 2) シャッターカバー（温度調整用カバー）の取り付けは認められます。

第9章 クラス別規定

第76条 RMCクラス別規定

[カテゴリ名称 ; Micro MAX クラス]

エンジン : ROTAX 125 Micro EVO とし一切の変更・改造は禁止され市販状態とします。

補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとします。

ドライホイールサイズ : フロント130mm幅以下、リア/150mm幅以下 公差+2mm
ウェットホイールサイズ : フロント130mm幅以下、リア/180mm幅以下 公差+2mm

【ギア指定】 天候に限らず、下記のギア数を使用することとします

15T×71/72/73/74T

※ギア指定の規則に変更が生じた場合は、公式通知にて発表いたします。

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical Regulations 2021 Micro MAX と、2021年 瑞浪特別規則書に準じます。

[カテゴリー名称 ; MAX NOVICE クラス]

※エンジン : MAX EVO エンジンも含め、全ての MAX エンジン、QD・Q
S・XS キャブレーターを使用可とします (組み合わせは、
Technical Regulations2021NOVICE 規定に準じます。

1) 排気リストラクターは次の部品のみ装着可能です。標準排気ソケットに
換えて装着しなければなりません。

・【 部品番号 2 7 3 9 7 2 】または【 部品番号 2 7 3 1 9 6 】を装着する
事。

・内径 : $\phi 22\text{mm} + 0.2\text{mm}$ 未満で、追加加工はいかなる場合でも禁止されま
す。

・スキッシュ : 最小値 1.00mm

2) 使用するパーツは純正品に限ります。

変更可能な部品等は、栄光ホームから 2021 RMC 規則内

Technical Regulations NOVICE 規定を参照してください。

3) バッテリー : 2021ROTAX テクニカルレギュレーション記載の
「Ver.1」「Ver.2」「Ver.3」が使用可能です。

4) ラジエター : 純正品とし無改造、取り付け位置もメーカー指定の通りと
します。

詳細は、ROTAX MOJO MAX Challenge Sporting Regulations、Technical
Regulations 2021 NOVICE 規定に準じます。

[カテゴリー名称 ; Senior MAX]

1) エンジン : ROTAX 125 MAX (Senior MAX,) とし一切の変
更・改造は禁止され市販状態とします。

補記類も純正品とし変更・改造は禁止され取り付けもメーカー指定通りとし
ます。

2) 使用するパーツは純正品に限ります。ただし、以下の変更は認
められます。

①ベースガスケット : 使用数およびサイズは自由とします。

②スキッシュ : 最小値 1.00mm

【 MAX Masters、Senior MAX 】

スキッシュ : 最小値 1.20mm

【 Junior MAX 】

③インテークサイレンサー : 純正品 Version2 の本体を使用すること。

中に装着するエアフィルターは、ROTAX 純正の、1層構造の黒色、
2層構造の緑/オレンジ、2層構造の緑/濃い緑“Twin Air”の3
種類いずれかを使用すること。※ただし、エアフィルターの加
工、改造は禁止されます。

3) バッテリー : 2021ROTAX テクニカルレギュレーション記載の
「Ver.1」「Ver.2」「Ver.3」が使用可能です。

4) キャブレーター : 純正品のデロルトキャブレーターVHSB34XS とし
無改造とします。

5) マフラー : 純正品を使用し、消音装置の消音部材のみ交換す
る以外改造は認められません。

6) ラジエター：純正品とし無改造、取り付け位置もメーカー指定の通りとします。詳細は、2021 RMC Sporting Regulations、2021 RMC Technical Regulations と、2021年 瑞浪特別規則書に準じます。

2021年 RMC シリーズ 車両規定表

| | Micro | Senior | Novice | | |
|-----------------|----------------------|----------------------|----------------------|--|--|
| シャシー | ※注1 参照 全長 950MM以下 | ※注1 参照 | ※注1 参照 | | |
| エンジン | 125 Micro MAX EVO | 125 MAX | Novice 仕様 | | |
| キャブレター | デロルト XS | デロルト XS | デロルト XS | | |
| プラグ | NGK GR8DI-8 | NGK GR8DI-8、GR9DI-8 | NGK GR8DI-8 | | |
| オイル | XPS | XPS | XPS | | |
| ドライタイヤ | YH SLJ (ADJ) | MOJO D5 (4.5/7.1) | YH ED (4.5/7.1) | | |
| ウェットタイヤ (注3) | MOJO W5 (4.5/6.0) | MOJO W5 (4.5/6.0) | MOJO W5 (4.5/6.0) | | |
| 最低重量 | 110kg | 160kg | 155kg | | |
| 参加年齢 (注2) | 小学1年生～中学1年生 | 14歳～ | 中学1年生～ | | |

注1 : JAF 国内カート競技車両規則に合致する第1種競技車両か、特別に主催者が認めたものに限り。 (シャシー改造や加工は禁止) 一般市販品の保護プロテクターは装着可詳細は、2021 Sporting Regulations、2021 RMC Technical Regulations に準じます。

注2 : 表に記載されている学年、年齢は当該年度として扱います。 Microクラスに 参加する1年生は、参加資格を満たしている者に限られます。

注3 : Novice クラスのウェットタイヤは、新品・中古は問いませんが、ミックス使用は禁止されます! **また、W2からW5に統一変更される場合、変更日には事前に告知いたします。**

第79条 緊急医療機関に関して

本大会において、緊急時の搬送病院を以下の通りとします。

怪我の状況等により救急隊員等により搬送される病院。

第10章 傷害保険

ドライバー傷害保険 競技に参加する者は、JAF国内カート競技規則 第11章第34条に定める傷害保険に、加入しなくてはなりません。 [2013年より加入が必要になりました]

※SLSスポーツ安全保険加入が義務付けられます。

注) その他一般の傷害保険加入でも、保障の適用が証明されれば可。

1. 保険金の補償額に関する事項

ドライバーは、死亡・後遺症傷害保障1,000万円以上の保障額があること

またドライバーは、入院保障額4,000円/日以上、通院保障額1,500円/日以上を確約できる保険であることとなります。

※走行していないピットクルー・メカニックも保険加入を推奨します。

ご不明な点に関しては、レースイベント主催者[オーガナイザー]までお問い合わせください。